

平成 27 年度

第 64 回

**事業計画書**

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日



〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 67 番地

# 平成27年度(第64回)事業計画

## 第1.総括

### 概要

平成26年度の実績見込みは、収入面では、主として予防健診収入において予算を上回る収入を確保することができ、全体では予算比100.7%の収入を確保することができる見込みです。

一方、支出面では、姫路事務所の拡大などに伴う人員の増加、医療精度向上のための投資などが増え、予算比(101.1%)となりましたが、当期利益はほぼ予算通りの利益を確保できる見込みです。

平成26年度の取り組みの一環として、受診者の視点にたった施設改修や、出張健診の充実を目指した車両更新、姫路事務所の拡張など設備投資を計画的に実行することができ、今後さらに収入を伸ばしていくための基盤を整えてきました。

また、ヒューマンエラーへの対策としてのチェック体制の強化や情報システム開発を行い、医療精度の向上と受診者サービスの向上にも努めました。

このような情勢の中、平成27年度予算を策定いたしました。

収入面においては、引き続き出張健診ならびに施設健診の予防健診事業の伸びが見込めることから、平成26年度実績予想に比べて収入は2.18億円増(103.0%)を計画いたしました。

一方、支出面では、事業拡大に伴う人件費および委託費の増加や当会の強みである情報システム開発による投資を行います。又、その他の設備投資においては費用対効果を重視し投資額を抑制いたしましたが、平成26年度投資に伴う減価償却費の増加等の影響もあり平成26年度実績予想に比べて支出は1.99億円増(102.7%)の計画をいたしました。

この結果、平成27年度予算は26年度実績予想からは2千万円程度減益、約1.52億円の当期利益を見込みます。

以下、事業計画に関して特記事項を示します。

### 医療事業

(1) 診察室の改装を行います。本部本館の診察室の一部を改装し、受診者のプライバシーの保護の観点から個室化し受診者サービスの質の向上を図ります。

(2) ホームページからの受診予約が可能になるweb予約体制を、全受診者を対象に拡大し受診者サービスの向上に努めます。

## ・ 予防健診事業

### 1. 総合健診センター

(1) 女性の受診者から要望が多く出されていた女性の特有疾病の検査エリアを占有スペースとして確保し受診者サービスの質の向上を図ります。

(2) 契約管理システム、検査予約管理システム、Web予約システムと連携した人間ドック管理システムを開発し、業務の簡素化等を図り、受診者サービスの向上に努めます。

### 2. 宇治支所

(1) データヘルス計画に沿った健診事業の推進を図ります。

(2) 退職者の総合的な健康管理をサポートするサルーテ「退職者健康管理友の会」の会員を1,000名増を目標に積極的な事業展開を図ります。

(3) ストレスチェックの義務化に対応した産業保健サービスの確立を図ります。

(4) 姫路事務所の拠点を活かした業務の拡大、効率的な健診業務の運用を図ります。

### 3. 神戸健診クリニック

(1) 人間ドック受診者増に対応するため、現在午前中に実施していた人間ドックを午後も実施する体制を確立し、受診者サービスの向上を図ります。

(2) 特定保健指導の実施数、実施率、継続率、成果、満足度等のサービスの向上を図ります。

## ・ 検査指導事業

### 1. 環境保健

平成25年度からインジウム化合物、コバルトなど法令で測定が義務付けられた有害物質の測定の増加が大きな収入増の要因となりました。平成27年度はこのような法令の改正は予定されていないことから、従来の有害物質を対象として特殊健診を実施しているにも係らず、測定を実施していない事業場に対して測定の勧奨を実施し、総合的な健康管理を推進していきます。

同時に、ホームページに活用して有害物の周知と測定の促進にも取り組みます。

## 2. 管理指導

(1) 平成27年12月に労働安全衛生法の改正・施行されるメンタルチェックは50名以上の事業場へ実施が義務付けられることから、その周知を行います。

(2) ストレスチェック義務化に連動したメンタルヘルス対策一次予防の取り組み支援を推進します。

(3) 産業医活動は、会員事業場からの依頼に応えられるだけの人員確保が困難な状況が継続しており引き続き人材の確保に注力します。